

# 演習Ⅱ

担当者 梅野 巨利

開講時期 通年 単 位 8

## ●講義の概要

受講生それぞれの研究テーマに沿って、報告、議論、論文修正のサイクルを回していく。

## ●講義の到達目標

議論を重ねながら、より良い修士論文を完成させること。

## ●講義計画

受講生の研究報告と議論を中心に進める。論理的な論文の書き方、表現方法、引用注釈のつけ方などの書式ルールについても指導する。具体的には以下の通り。

第1回	論文構成のありかた
第2回～14回	論文進捗報告と議論
第15回	前期までの仕上りの確認と総括
第16回	後期に向けた目標設定
第17回～28回	論文進捗報告と議論
第29回～30回	提出前最終確認

## ●成績評価基準と方法

### ①評価方法

毎回の発表内容と修士論文の完成度をもとに総合的に評価します。

毎回の発表30%、修士論文の完成度（70%）

### ②評価基準

- ・修士論文テーマに関連した先行研究レビューがしっかりなされているか。
- ・修士論文の内容記述方法が論旨一貫性をもっているか
- ・自分の研究課題をさらに発展させるための問題意識を示しているか。

## ●テキスト又は参考文献

適宜紹介・指示する。

## ●受講上の留意点

研究報告はしっかり準備してくること。

ゼミで修正指摘を受けたところは確実に直してゼミに臨むこと。